

平成23年1月28日公表

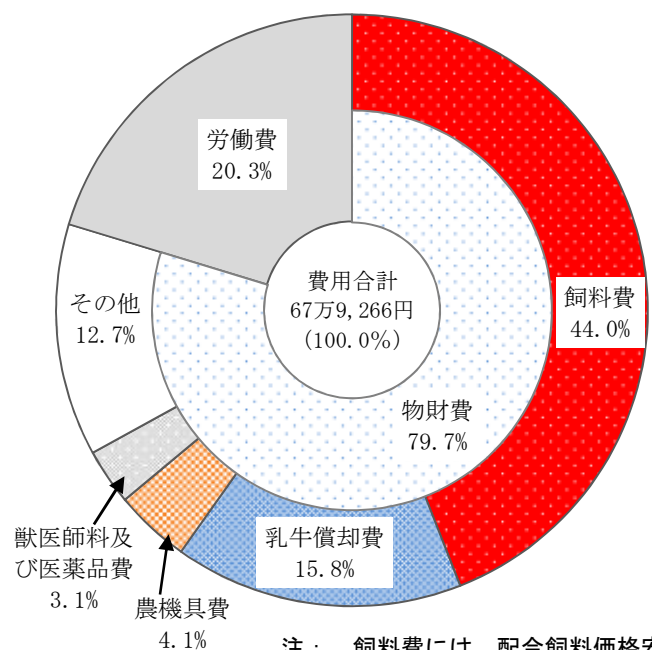
農業経営統計調査 平成21年度 牛乳生産費（北海道）

－ 搾乳牛通年換算1頭当たり全算入生産費は
飼料費の減少等により0.5%減少 －

【調査結果の概要】

- 平成21年度の搾乳牛通年換算1頭当たり（以下「搾乳牛1頭当たり」という。）資本利子・地代全額算入生産費（以下「全算入生産費」という。）は65万2,232円で、前年度に比べ0.5%減少し、生乳100kg当たり（乳脂肪分3.5%換算乳量）全算入生産費は7,181円で、前年度に比べ1.4%減少した。
- 搾乳牛1頭当たり全算入生産費が減少したのは、飼料価格の低下により飼料費が減少したこと等による。
- 搾乳牛1頭当たり粗収益は、乳価が上昇したことにより前年度に比べ5.9%増加し、72万1,753円となった。

図 主要費目の構成割合（搾乳牛1頭当たり）



注： 飼料費には、配合飼料価格安定制度の補てん金は含まない。

表 平成21年度 牛乳の生産費及び収益性

単位 { 実数：円
増減率：%

区 分	搾乳牛通年換算1頭当たり		生乳100kg当たり（乳脂肪分3.5%換算乳量）	
	実数	対前年度増減率	実数	対前年度増減率
生 産 費	541 209	△ 0.3	5 959	△ 1.2
物 資 費	138 057	△ 0.8	1 520	△ 1.6
労 働 費	679 266	△ 0.4	7 479	△ 1.3
費用合計	599 815	△ 0.3	6 604	△ 1.2
生産費（副産物価額差引）	614 447	△ 0.4	6 765	△ 1.3
支払利子・地代算入生産費	652 232	△ 0.5	7 181	△ 1.4
資本利子・地代全額算入生産費				
粗 収 益	721 753	5.9	-	-

注： 集計経営体数は、243経営体である。

注： なお、経営体とは、2005年農林業センサスに基づく農業経営体のうち、世帯による農業経営を行う経営体のことであり、調査対象の範囲は従来と同じである。調査の対象などについては、【調査の概要】P7を参照。

本統計調査で使用している統計表は、以下のアドレスからデータとしてご利用いただけます。

【<http://www.maff.go.jp/hokkaido/toukei/kikaku/sokuho/index.html>】

【統計表】

1 生

区 分		物								
		計	種付料	飼 料 費			敷料費	光熱水料 及 び 動力費	その他の 諸材料費	獣医師料 及 び 医薬品費
				計	流 通 飼 料 費	牧草・ 放牧・ 採草費				
搾 乳 牛	平. 21 年度	541 209	10 714	299 048	185 056	113 992	8 126	18 125	950	20 830
通 年 換 算	20	542 836	11 167	306 994	200 450	106 544	7 624	19 627	1 368	20 706
1 頭 当 た り	対前年度増減率 (%)	△ 0.3	△ 4.1	△ 2.6	△ 7.7	7.0	6.6	△ 7.7	△ 30.6	0.6
平. 21 費目別構成比 (%)		79.7	1.6	44.0	27.2	16.8	1.2	2.7	0.1	3.1
生 乳 100kg	平. 21 年度	5 959	118	3 292	2 037	1 255	89	200	10	229
当 た り	20	6 030	124	3 411	2 227	1 184	85	218	15	230
(乳脂肪分3.5% 換算乳量)	対前年度増減率 (%)	△ 1.2	△ 4.8	△ 3.5	△ 8.5	6.0	4.7	△ 8.3	△ 33.3	△ 0.4
生 乳 100kg	平. 21 年度	6 850	136	3 785	2 342	1 443	103	229	12	264
当 た り	20	6 933	143	3 921	2 560	1 361	97	251	17	264
(実搾乳量)	対前年度増減率 (%)	△ 1.2	△ 4.9	△ 3.5	△ 8.5	6.0	6.2	△ 8.8	△ 29.4	0.0

注：1 飼料費には、配合飼料価格安定制度の補てん金は含まない。

2 物材費の償却費については、平成19年度及び平成20年度の税制改正における減価償却費計算の見直しを踏まえ算出した。なお、算出方法については、【調査の概要】P7を参照。

区 分		労 働 費					費 用 合 計			
		計	直 接 家 族 労 働 費	間 接 労 働 費	自給牧草 に係る 労 働 費	計	購 入 (支払)	自 給	償 却	
										計
搾 乳 牛	平. 21 年度	138 057	126 643	126 386	11 671	9 630	679 266	297 736	246 658	134 872
通 年 換 算	20	139 127	127 809	127 673	11 454	9 199	681 963	312 448	240 145	129 370
1 頭 当 た り	対前年度増減率 (%)	△ 0.8	△ 0.9	△ 1.0	1.9	4.7	△ 0.4	△ 4.7	2.7	4.3
平. 21 費目別構成比 (%)		20.3	18.6	18.6	1.7	1.4	100.0	43.8	36.3	19.9
生 乳 100kg	平. 21 年度	1 520	1 394	1 392	128	106	7 479	3 279	2 715	1 485
当 た り	20	1 545	1 419	1 418	127	102	7 575	3 471	2 668	1 436
(乳脂肪分3.5% 換算乳量)	対前年度増減率 (%)	△ 1.6	△ 1.8	△ 1.8	0.8	3.9	△ 1.3	△ 5.5	1.8	3.4
生 乳 100kg	平. 21 年度	1 748	1 603	1 600	148	122	8 598	3 769	3 122	1 707
当 た り	20	1 778	1 633	1 631	147	117	8 711	3 990	3 068	1 653
(実搾乳量)	対前年度増減率 (%)	△ 1.7	△ 1.8	△ 1.9	0.7	4.3	△ 1.3	△ 5.5	1.8	3.3

産費

単位:円

財			費							
賃借料 及び 料金	物件税 及び公課 諸負担	乳牛 償却費	建物費		自動車費		農機具費		生産管理費	
				償却費		償却費		償却費		償却費
13 626	12 064	107 135	18 426	13 909	2 522	1 110	28 012	12 681	1 631	37
12 596	13 046	99 196	17 905	13 329	2 326	922	28 575	15 879	1 706	44
8.2	△ 7.5	8.0	2.9	4.4	8.4	20.4	△ 2.0	△ 20.1	△ 4.4	△ 15.9
2.0	1.8	15.8	2.7	2.0	0.4	0.2	4.1	1.9	0.2	0.0
150	133	1 180	203	153	28	12	309	140	18	0
140	145	1 102	199	148	26	10	317	176	18	0
7.1	△ 8.3	7.1	2.0	3.4	7.7	20.0	△ 2.5	△ 20.5	0.0	…
172	153	1 356	233	176	32	14	355	161	20	0
161	167	1 267	228	170	30	12	365	203	22	1
6.8	△ 8.4	7.0	2.2	3.5	6.7	16.7	△ 2.7	△ 20.7	△ 9.1	△ 100.0

副産物価額	子牛	生産費 (副産物 価額引)	支払利子	支払地代	支払利子・ 地代算入 生産費	自己資本 利子	自作地 代	資本利子 ・地代 全額算入 生産費 (全算入生産費)
80 088	58 846	601 875	9 784	5 125	616 784	16 777	22 162	655 723
△ 0.8	0.9	△ 0.3	△ 4.6	3.3	△ 0.4	△ 4.7	△ 1.7	△ 0.5
-	-	-	-	-	-	-	-	-
875	654	6 604	103	58	6 765	176	240	7 181
890	654	6 685	109	57	6 851	186	246	7 283
△ 1.7	0.0	△ 1.2	△ 5.5	1.8	△ 1.3	△ 5.4	△ 2.4	△ 1.4
1 006	751	7 592	118	67	7 777	202	276	8 255
1 023	752	7 688	125	65	7 878	214	283	8 375
△ 1.7	△ 0.1	△ 1.2	△ 5.6	3.1	△ 1.3	△ 5.6	△ 2.5	△ 1.4

2 生産概況（搾乳牛通年換算 1）

区分	1 経営体 当たり 搾乳牛 飼養頭数 (通年換算)	主 産 物				
		生 乳				
		実搾乳量	価 額	乳 脂 肪 分	無 脂 乳 固 形 分	乳脂肪分 3.5% 換 算 乳 量
平. 21 年度	頭	kg	円	%	%	kg
	67.8	7 901	642 302	4.02	8.69	9 083
20	66.7	7 830	601 303	4.02	8.68	9 002
対前年度増減率 (%)	1.6	0.9	6.8	0.00	0.01	0.9

注：乳脂肪分及び無脂乳固形分の対前年度増減率は対前年差である。

3 労働時間（搾乳牛通年換算 1）

区分	計	直 接 労 働				
		家 族	飼 育 労 働 時			
			飼料の 調理・給 与・給水	敷料の搬 入・きゅう 肥の搬出	飼育管理	搾乳及び 牛乳処理 ・運搬
平. 21 年度	90.40	81.68	17.26	9.07	10.13	45.82
20	90.70	82.09	17.64	9.95	9.82	45.04
対前年度増減率 (%)	△ 0.3	△ 0.5	△ 2.2	△ 8.8	3.2	1.7

4 収益性

単位：円

区分	搾乳牛 通年換算 1頭当たり 粗収益	所 得		家族労働報酬		世 帯 員
		搾乳牛 通年換算 1頭当たり	1日当たり	搾乳牛 通年換算 1頭当たり	1日当たり	
平. 21 年度	721 753	154 498	15 132	116 713	11 431	4.9
20	681 391	112 328	10 947	73 389	7 152	5.0
対前年度増減率 (%)	5.9	37.5	38.2	59.0	59.8	△ 2.0

頭当たり)

副 産 物			
子	牛	き	ゆ う 肥
生産頭数	価 額	利 用 量	利用価額
頭	円	kg	円
0.92	59 368	14 296	20 083
0.95	58 846	14 619	21 242
△ 3.2	0.9	△ 2.2	△ 5.5

頭当たり)

単位：時間

時 間		間 接 労 働 時 間	
間	生産管理	きゆう肥の 処 理	自給牧草 に係る 労働時間
0.08			
0.08	1.12	7.05	5.59
0.0	△ 8.9	△ 0.4	2.0

5 経営概況（1経営体当たり）

単位 { 世帯員、就業者：人
面 積：a

農 業 就 業 者			経 営 土 地 面 積			
計	男	女	耕 地		畜 産 用 地	
				牧草地		放牧地
2.7	1.6	1.1	5 519	4 932	738	635
2.8	1.6	1.2	5 348	4 734	674	559
△ 3.6	0.0	△ 8.3	3.2	4.2	9.5	13.6

【関連するデータ、情報】

牛乳生産費統計の累年統計（北海道）

単位：円

北海道	搾乳牛通年換算 1頭当たり 全算入生産費	生乳100kg当たり (乳脂肪分3.5% 換算乳量) 全算入生産費	搾乳牛通年換算 1頭当たり 粗収益	主産物 (生乳) 価額	搾乳牛通年換算 1頭当たり 投下労働時間 時間
平成11年度	564 061	6 732	618 004	569 182	100.53
12	556 789	6 556	633 843	569 407	100.50
13	564 014	6 546	643 279	578 776	99.34
14	565 390	6 396	666 949	591 414	98.65
15	575 228	6 394	676 265	599 920	97.85
16	588 591	6 548	667 780	588 308	96.36
17	595 232	6 596	660 699	576 720	95.32
18	590 372	6 665	636 760	552 446	94.40
19	611 614	6 917	643 542	555 047	91.19
20	655 723	7 283	681 391	601 303	90.70
21	652 232	7 181	721 753	642 302	90.40

資料：農林水産省北海道農政事務所「北海道農林水産統計年報（農業経営統計編）」

注：平成11年度～17年度は、既に公表した『平成12年 牛乳生産費』～『平成18年 牛乳生産費』に対応するデータである。

【 調 査 の 概 要 】

1 調査の目的

農業経営統計調査の牛乳生産費統計は、牛乳の生産コストを明らかにし、加工原料乳生産者補給金の算定、経営改善対策の資料を整備することを目的としている。

2 調査の対象

本調査は、2005年農林業センサスに基づく農業経営体のうち、世帯による農業経営を行い、搾乳牛を1頭以上飼養し、生乳を販売した経営体を対象として実施した。

3 調査期間

この調査の期間は、平成21年4月から平成22年3月までの1年間である。

4 調査方法

調査は、調査経営体に所定の現金出納帳・作業日誌（記録簿）を配布し、これに日々の生産資材の購入・使用、生産物の販売、労働時間等を調査経営体が記帳する自計調査の方法を基本とし、センター職員による調査経営体に対する面接調査の併用によって行った。

また、希望する調査経営体においては、牛資産の異動状況等の管理について、（独）家畜改良センター所管の牛個体識別台帳データを活用した。

5 調査経営体数

250経営体（集計経営体数：243経営体）

6 集計方法

各調査経営体ごとにウェイトを定め、集計対象とする区分ごとに加重平均法により算出した。

この場合のウェイトとは、北海道の飼養頭数規模別に、該当する取りまとめ経営体数を畜産統計調査結果における乳用牛成畜頭数規模別飼養戸数で除した「標本抽出率」の逆数としている。

7 実績精度

生乳100kg当たり（乳脂肪分3.5%換算）全算入生産費を指標とした実績精度は、0.9%である。

8 減価償却計算の見直しに伴う減価償却額の算出方法

(1) 平成19年度以降の農業経営統計調査（牛乳生産費統計）における減価償却額は、平成19年度税制改正における減価償却計算の見直しを踏まえ、以下のとおり算出した。

ア 平成19年3月31日以前に取得した資産

(ア) 償却中の資産

1か年の減価償却額＝（取得価額－残存価額）×耐用年数に応じた償却率

(イ) 償却済みの資産

1か年の減価償却額＝（残存価額－1円（備忘価額））÷5年

ただし、平成20年1月から適用した。

イ 平成19年4月1日以降に取得した資産

1か年の減価償却額＝（取得価額－1円（備忘価額））×耐用年数に応じた償却率

(2) 平成21年度の農業経営統計調査（牛乳生産費統計）における減価償却額は、平成20年度税制改正における減価償却計算の見直し（資産区分の大括化、法定耐用年数の見直し）を踏まえ算出した。

9 用語の解説

(1) 搾乳牛通年換算1頭当たり生産費とは、1経営体当たり生産費を年間月平均搾乳牛（乾乳中の牛を含む。）飼養頭数で除して算出したものである。

(2) 生乳100kg当たり生産費とは、搾乳牛通年換算1頭当たり生産費を、乳脂肪分3.5%換算乳量又は実搾乳量で除して算出したものである。

なお、乳脂肪分3.5%換算乳量の算出方法は、以下のとおりである。

$$\text{乳脂肪分3.5\%換算乳量} = \frac{\text{乳脂肪量 (実搾乳量} \times \text{乳脂肪分)}}{0.035}$$

(3) 家族労働費とは、家族労働時間に「毎月勤労統計調査」（厚生労働省）の建設業、製造業及び運輸業（平成22年1月分以降は、新産業分類の建設業、製造業及び運輸業・郵便業の3業種としている。）に属する5～29人規模の事業所における賃金データ（都道府県単位）を基に算出した男女同一単価（当該地域で男女を問わず実際に支払われた平均賃金）を乗じて評価したものである。

(4) 自作地地代とは、その地方の類地（調査対象作物の作付地と地力等が類似している作付地）の小作料で評価したものである。

(5) 自己資本利子とは、総資本額から借入資本額を差し引いた自己資本額に年利率4%を乗じて算出したものである。

(6) 「粗収益」の所得及び家族労働報酬の算出方法は、以下のとおりである。

ア 所得＝粗収益－〔生産費総額－（家族労働費＋自己資本利子＋自作地地代）〕

ただし、生産費総額＝費用合計＋支払利子＋支払地代＋自己資本利子＋自作地地代

イ 1日当たり所得＝所得÷家族労働時間×8（1日換算）

ウ 家族労働報酬＝粗収益－（生産費総額－家族労働費）

エ 1日当たり家族労働報酬＝家族労働報酬÷家族労働時間×8（1日換算）

10 統計表の見方等

(1) 計と内訳が一致しないのは、表示単位未満を四捨五入したためである。

(2) 表中に用いた記号は以下のとおりである。

「0」：単位に満たないもの（例：0.4→0）

「－」：事実のないもの

「…」：事実不詳または調査を欠くもの

「△」：負数又は減少したもの

11 その他

本統計結果の詳細は、平成23年3月刊行予定の『北海道農林水産統計年報（農業経営統計編）』に掲載する。

○ 統計結果は、北海道農政事務所ホームページの中の「統計情報」－「農林水産統計」（分類は「農業経営」）に掲載しています。

ホームページURL：<http://www.maff.go.jp/hokkaido/toukei/kikaku/sokuho/index.html>



【問合せ先】

農林水産省 北海道農政事務所 統計部

○本公表資料に関する問合せ先

経営・構造統計課

電話（011）642-5611（ダイヤルイン）

○その他農林水産統計資料に関する問合せ先

統計企画課企画係

電話（011）642-5609（ダイヤルイン）